

御殿場市プレスリリース (令和6年3月15日)

件名	脱炭素にまったなし！ 2市1町と6金融機関【共同記者会見】 ※全首長出席 【富士山東麓エコガーデンシティ地域循環共生圏】		
日時	令和6年3月26日(火) 午前10時30分～午前11時00分		
場所	御殿場市役所 東館202・203会議室	TEL	事務局:御殿場市 企画課 企画調整スタッフ 0550-82-4421
主催者	御殿場市・裾野市・小山町・6金融機関	TEL	
その他の関係者	立会人:静岡県政策推進局長	TEL	
担当部課 スタッフ名	企画戦略部 企画課 企画調整スタッフ		
担当者名 (統括職以上)	副参事 鈴木隆広	TEL	0550-82-4421(直通)
目的・趣旨 (特に伝えたいこと)	ゼロカーボンシティ実現に向けた「2030年温室効果ガス46%削減」まで残りわずか6年。排出量の6割を占める産業・業務部門、2割を占める家庭部門等の脱炭素促進に向け、地域循環共生圏2市1町と6金融機関が連携し、大きく踏み出します。		
内容 (方法、対象者、数量等)	<p>1. 概要 「地球温暖化対策計画」(2021年3月閣議決定)の中間目標 2030年まであと6年に迫る! 「富士山東麓エコガーデンシティ地域循環共生圏」を構成する2市1町では、官民一丸となった脱炭素の実効的取組を実施します。 御殿場市とパートナーシップ協定(平成28年2月)を締結し、2市1町を営業圏域とする6金融機関の協力を得て、温室効果ガス排出量の6割を占める産業・業務部門、2割を占める家庭部門等における“脱炭素”を強力に促進します。</p> <p>2. 参加金融機関 静岡銀行、スルガ銀行、静岡中央銀行、沼津信用金庫、JA富士伊豆、静岡県労働金庫</p> <p>3. 共同記者会見の内容 ①開会 ②出席者紹介 ③趣旨説明 ④挨拶(各首長、各金融機関、立会人の静岡県) ⑤写真撮影 ⑥質疑応答 ⑦閉会</p> <p>4. 具体的な取組 … 「2市1町地域循環共生圏域モデル※」の展開 ※地域循環共生圏2市1町と地域金融機関が連携し“温室効果ガス排出量の見える化”を始め、それぞれの特色・強みを生かして脱炭素に取り組む枠組 (取組例) ・温室効果ガス排出量無料算定ツール「しずおかGXサポート」を活用し、企業の温室効果ガス排出量“見える化”を促進。各金融機関を通して集約した排出量データを行政と連携させ、環境施策の企画立案、推進に活用する。 ・脱炭素支援制度等の啓発など、各金融機関の特色・強みを生かして協力。</p> <p style="text-align: center;">新規・継続別(どちらかに○印)： ○ 新 規 ・ 継 続</p>		
市長コメント	ゼロカーボンシティ実現のためには、地域経済の要であり、産業界や各家庭と密接な関わりのある金融機関の協力が不可欠です。地域循環共生圏を構成する2市1町と金融機関が力を合わせ、脱炭素の実効的な取組を、富士山の麓から大いに進めていきたい。		部長確認印

添付資料： 有 無

SDGsにおける位置付け(該当するゴールに○印)

貧困をなくそう	飢餓をゼロに	すべての人に健康と福祉を	質の高い教育をみんなに	ジェンダー平等を実現しよう	安全な水とトイレを世界中に	エネルギーを皆にクリーンに	働きがいも経済成長も	産業と技術革新の基盤をつくろう	人や国の不平等をなくそう	住み続けられるまちづくりを	つくる責任つかう責任	気候変動に具体的な対策を	海の豊かさを守ろう	陸の豊かさを守ろう	平和と公正をすべての人に	パートナーシップで目標を達成しよう	